

解 答 速 報



久留米大学 一般選抜後期

1	1	2	3	4	5	6	7	8
	(c)	(d)	(a)	(d)	(b)	(d)	(b)	(a)

2	1	2
	(c)	(a)

3	(1)	(c) • (f) • (d)	[(c) - (a) - (f) - (e) - (b) - (d)]
		Dr. Mario Krenn, head of the research group <i>Artificial Scientist Lab</i> at MPL, in collaboration with the team of LIGO (“Laser Interferometer Gravitational-Wave Observatory”), <u>who built those detectors successfully, has designed an AI-based algorithm called ›Urania‹ to design novel interferometric gravitational wave detectors.</u>	
	(2)	(d) • (b) • (e)	[(d) - (f) - (b) - (a) - (c) - (e)]
		The scientists <u>have converted this challenge into a continuous optimization problem and solved it using methods inspired by modern machine learning.</u>	
	(3)	(b) • (f) • (a)	[(b) - (d) - (f) - (c) - (e) - (a)]
		After <u>roughly two years of developing and running our AI algorithms, we discovered dozens of new solutions that seem to be better than experimental blueprints by human scientists.</u>	
	(4)	(e) • (d) • (b)	[(e) - (a) - (d) - (c) - (f) - (b)]
		The recently published <u>work shows that AI can uncover novel detector designs and inspire human researchers to explore new experimental and theoretical ideas.</u>	

4	1.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
		(c)	(d)	(a)	(d)	(b)	(a)	(c)
	2.	(c) • (d) • (f)						

5	1	2	3	4	5	6	(7)
	(b)	(b)	(c)	(c)	(d)	(b)	(a)

6	1	2	3	4	5	6	(7)	(8)
	(a)	(h)	(b)	(a)	(a)	(h)	(d)	(f)

【講評】

- 1: 文意に即した語彙を埋める4択問題。今年の前期試験では、例年と違って通常レベルの文法問題・語彙問題の出題がメインであったが、本後期試験では例年と同じく受験レベルを超えた語彙の出題があった。そのような問題は消去法から正解の可能性を高めたい。
- 2: 不要文除去問題。例年の前・後期の同問題では長文化が進んでいたが、今回は長さが控えめであった。
- 3: マックス・プランク研究所が発行する記事 AI finds new ways to observe the most extreme events in the universe が題材の「宇宙の未知の現象を観測するアイデアを創出するためのAIの使用」についての英文。長文内で語句整序を行って正しい英文を構成する当大学のおなじみの問題で、品詞・修飾・構造に注意して文章を構築する能力が試されている。テーマ的に、英文自体は少し読みにくい箇所もあったと思うが、整序箇所はさほど難しくなかったため、焦らず取り組んでしっかりと合わせにきたい。
- 4: 「スタートレックのテレビ放送が社会に及ぼした影響」について論じる英文であった。1の語句選択問題には多少難しい語彙が含まれていたが、本文をきちんと読解して消去法を駆使すれば、答えを導くことがそこまで難しくなかった。2の内容一致問題の難易度は例年並み。本文の根拠となる記述と照らし合わせて、ミスなく済ませたい。
- 5: 「FAS（外国語様アクセント症候群）を発症した英国人 Althia Bryden」についての英文。ここ2年の後期大問5のテーマは伝記の出題が続いた（25年度「英国人スイマーの Ethel Lowly の簡略な伝記」、24年度「北極探検で有名な文化人類学者ローレンツ・ピーター・エルフレッド・フロイヘンの生涯と功績」）、今年も半ば伝記と呼べる英文の出題となった。読みやすく、内容理解もしやすい英文だった。難易度は例年並み。
- 6: センター試験時代の大問2C形式の英文完成問題。文法・構文・意味的に考え、2×2×2のフレーズを、文法事項・英文構造に注意しながらつないで文章を完成させる。難易度は例年並み。

問題構成・全体の分量・難易度は全て例年並み。前期と違って記述問題が存在しない分、解答時間もタイトなものではないし、前期試験より難易度もやや低めであるため、合格を目指すには7割以上得点したい。落とすとしたら大問1の数問のみで、それ以外はできるだけミスを最小限におさえなければならない。



メルマガ登録（無料）またはLINE公式アカウント友だち登録（無料）で全教科閲覧できます！
メルマガ登録は左のQRコードから、LINE友達登録は右のQRコードから行えます。



<p>渋谷校 ☎ 0120-142-760 東京都渋谷区桜丘町 6-2</p>	<p>名古屋校 ☎ 0120-148-959 名古屋市中村区名駅 2-41-5 CK20 名駅前ビル 2F</p>	<p>大阪校 ☎ 0120-142-767 大阪府吹田市広芝町 4-3-4 江坂第1ビル 3F</p>
<p>個別専門館 麹町FC校 TEL: 03-6272-4175 東京都千代田区二番町 8-20</p>	<p>提携校 医学部特訓塾 TEL: 03-6279-9927 東京都杉並区阿佐谷南 3-37-2 第二大同ビル 2F</p>	